

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	建築資材の資源循環研究小委員会		主 査 名：野口貴文 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (環境配慮運営委員会)		委員長名：橘高義典 主 査 名：小山明男
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現在、建築廃棄物の再資源化率は高く、かつ建築材料は多くの廃棄物を受け入れている。しかし、再資源化されている廃棄物は、コンクリートや木材が中心で、排出量の多い石こうボードやガラスなどの再資源化は、ごく一部で行われているのが現状である。それらの促進を図るために、学会として考え方や方向性を示すことが重要である。本活動を通じ、「建築分野における資源循環の考え方(案)」(仮称)を制定することを目的とする。</p> <p>2021 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物を構成する構造材・下地・仕上材に関して、実構造物に対する過去から近年の資源投入量(ストック量)を調査する。</li> <li>・建築物の解体、中間処理、最終処分段階での排出・再利用量などを調査する。</li> </ul> <p>2022 年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段階での排出物の資源循環を促進するために、各種建材ごとのその技術・システムのあり方を調査し、データとしてとりまとめる。</li> <li>・「建築分野における資源循環の考え方(案)」(仮称)を制定し、出版する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：野口貴文(東京大学) 幹事：小山明男(明治大学)、田村雅紀(工学院大学) 委員：朝吹香菜子(国士舘大学)、内田陽一(塩ビ工業・環境協会)、越中谷光太郎(日本建築仕上材工業会)、北坂昌二(石膏ボード工業会)、古賀純子(芝浦工業大学)、佐々木哲也(高橋カーテンウォール工業)、高木健治(ノザワ)、立屋敷久志(ダイヤリフォーム)、辻大二郎(竹中工務店)、堤隆宣(ALC協会)、針貝貴浩(三菱マテリアル)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p><b>特定建設資材廃棄物WG</b>：建設リサイクル法における特定建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)を中心に、これらの資材における評価・時間的推移について調査し、報告する。</p>		
2021 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. コロナ禍により、2021年度は遠隔会議システムで実施し、所定の調査研究を行うことができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. オンラインによる会議を活性化し、成果のとりまとめに向けて検討を進める。 2. 2022年度で小委員会・WGによる成果のとりまとめを検討する。